

建設機械借上仕様書

1 使用機械

1) 使用機械

使用する機械は、タスクメーター又はアワーメーター等を装備したものとする。

2) 使用機械の諸元(仕様)確認資料及び記録紙・写真の提出

使用機械の諸元(仕様)がわかるカタログや車検証の写し等と、その規格・型式等が確認できる写真(機械全体写真及び型式等を確認できる部分の近接写真)を添付のうえ監督職員に提出するものとする。

また、記録紙には、次の項目を記入のうえ、作業写真を添付し監督職員に提出するものとする。

- (1) 車種・規格
- (2) 使用機械 No. (ナンバープレートのある機種はそのナンバー)
- (3) 運転者
- (4) 稼働年月日
- (5) 運転区間(路線名)
- (6) 運転開始時刻
- (7) 運転終了時刻
- (8) 稼働時間
- (9) 運転停止時間
- (10) 実稼働時間
- (11) 補助労務

3) 運転時間確認票及び支払請求額等内訳書

記録紙(写真)に基づき「様式7」の運転時間確認票を作成のうえ監督職員に提出するものとする。

なお、支払請求については、契約条件第1条の1及び第14条の1により、「様式13」の支払請求額等内訳書を作成するものとするが、使用機械ごとの精算額及び消費税相当額は、円未満切り捨てとする。

2 写真管理

写真は、作業内容ごとに同一位置から作業の着手前・作業中・完了後に区分し、日付及び作業場所を記載した表示板を被写体とともに写し込むように撮影する。

なお、除雪等路線指定で作業を行う場合は、1路線につき3箇所以上撮影するものとする。

また、使用機械に装備されているアワーメーターにより時間管理する場合は、計器の表示数値、腕時計等による運転開始時刻及び運転終了時刻が各々一枚写真で確認できる大きさの拡大写真と上記の表示数値等を記した表示板にアワーメーターを入れた全体写真を撮影するものとする。

3 運転時間数等の確認及び処理

運転時間数等の処理は、タスクメーター記録紙又はアワーメーター写真により次のとおり処理するものとする。

(1) 運転時間の端数処理

使用機械ごとの1日の実稼働時間は、10分単位(10分未満切捨)とし、月ごとの集計は15分単位(15分未満切捨)とする。

ただし、補助労務については、1時間単位(1時間未満切捨)とする。

(2) 実稼働時間

稼働時間は建設機械の実稼働時間を基とし、日常作業開始後終了までの間において、エンジン運転中(自走可能な機械にあっては作業場所への移動のための運転も稼働時間を含める。)の時間をもって実働時間とするものとする。

機械の故障修理、休息・休憩時間、運転停止時間を除く実作業時間とする。

ただし、土砂積込み運搬時のダンプの待ち時間は拘束時間として作業にカウントする。

(3) 運転停止時間

機械が10分以上停止した時間とする。

4 運搬機械

1) 運搬起算点

機械を運搬する場合の起算点は、作業場所最寄りの市町村役場（支所等含む）を基本とする。なお、その他特殊な事情がある場合は、監督職員の指示に従うこと。

2) 運搬機械

運搬する車両の諸元等、車検証の写し等とその規格・型式等が確認できる書類を添付し監督職員に提出する。

3) 運搬確認

運搬は、事前に監督職員に確認を取り、「様式8」の重機運搬確認表により監督職員に提出する。

4) 写真管理

積込地点及び積卸地点での撮影、必要によりオドメーター等を添付する。

5 補助労務

補助労務は重機の単独作業時に計上できるものとし、写真で時間等を確認することとする。

6 その他

作業にあたっては、林道施設及び施設付帯物（標識・ガードレール・カーブミラー等）、

(1) 立木等を損傷しないように努める。

(2) 作業にあたって支障木が発生する場合は、監督職員の指示に従うこと。

タスクメーター記録紙

添付位置

車種・規格	
使用機械（No.等）	
運転者	
稼働年月日	
運転区間（路線名）	
運転開始時間	
運転終了時間	
稼働時間	
運転停止時間	
実稼働時間	

アワーメーター記録紙

黒板写真
(機種、開始or終了時間、
アワーメーター、日付)

黒板写真
(機種、開始or終了時間、
アワーメーター、日付)

近距離写真
(開始(終了)時間(時計)
現在のアワーメーター時間)

近距離写真
(開始(終了)時間(時計)
現在のアワーメーター時間)

車種・規格			
使用機械 (No.等)			
運転者			
稼働年月日			
運転区間(路線名)			
稼働時間			○時○分
停止時間			○時○分
合計時間			○時○分

運転開始時刻			○時○分
運転終了時刻			○時○分

アワーメーター時間管理表

運転開始	A			
運転終了	B			
稼働	$B - A = C$			
停止	D			
合計	$C - D = E$			○時○分

※停止時間とは、エンジンはかかっていたが作業をしていない時間

実稼働時間			○時○分
-------	--	--	------

補 助 労 務 出 役 確 認 表

監督職員

作業名	荘川地区建設機械借上		
年月日	作 業 内 容	数量	備考
時間		0	
単価			
確定金額			

